

新時代にふさわしい 成田市の創造に向けて

平成16年度予算案が3月定例市議会で可決されました。予算総額は、615億9,256万円。その内訳は、一般会計で427億円、特別会計が5会計で165億5,850万円、水道事業会計が23億3,406万円です。前年度と比較すると、一般会計で17億円(4.1%)増額となりました。これは、厳しい経済情勢の中でも市民生活に必要な予算は確保し、さらに平成小学校分離新設校建設、加良部小学校増築、三里塚小学校屋内運動場改築などにより、教育費が増加したためです。本号では平成16年度予算の概要についてお知らせします。



次世代に誇れる成田市の創造を

会計別予算の内訳

一般会計 427億円
 一般会計とは、市の基本的な行政を行うための会計です。主な事業は4・5ページをご覧ください。

特別会計 165億5,850万円
 特別会計とは、特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計をいいます。本市では次の5会計が設けられています。

- 国民健康保険 62億4,973万円
 被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行います。
- 下水道事業 26億2,035万円
 都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
- 公設地方卸売市場 3億5,760万円
 青果物、水産物、生鮮食料品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- 老人保健 46億4,759万円
 老人医療受給者に、医療費を給付することを目的としています。
- 介護保険 26億8,323万円
 被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。

企業(水道事業)会計 23億3,406万円
 企業会計として「水道事業会計」があります。
 ・水道事業収益(収益的収入)...18億3,201万円
 ・水道事業費用(収益的支出)...16億1,828万円
 ・資本的収入...1億6,037万円
 ・資本的支出...7億1,578万円

「市町村合併の推進」を加えた七つの重点目標を柱に

我が国の経済は、企業収益の改善など回復基調に入りつつあるといわれていますが、いまだ不透明感が色濃く、景気の拡大は望めない状況にあります。

国や地方公共団体においても、税収などの減収により非常に厳しい財政運営を強いられています。本市財政も例外ではなく、歳入面では、長期低迷する経済状況を反映した税収(下表参照)の伸び悩み、国・県補助金の廃止縮減など、その運営は非常に厳しいもの

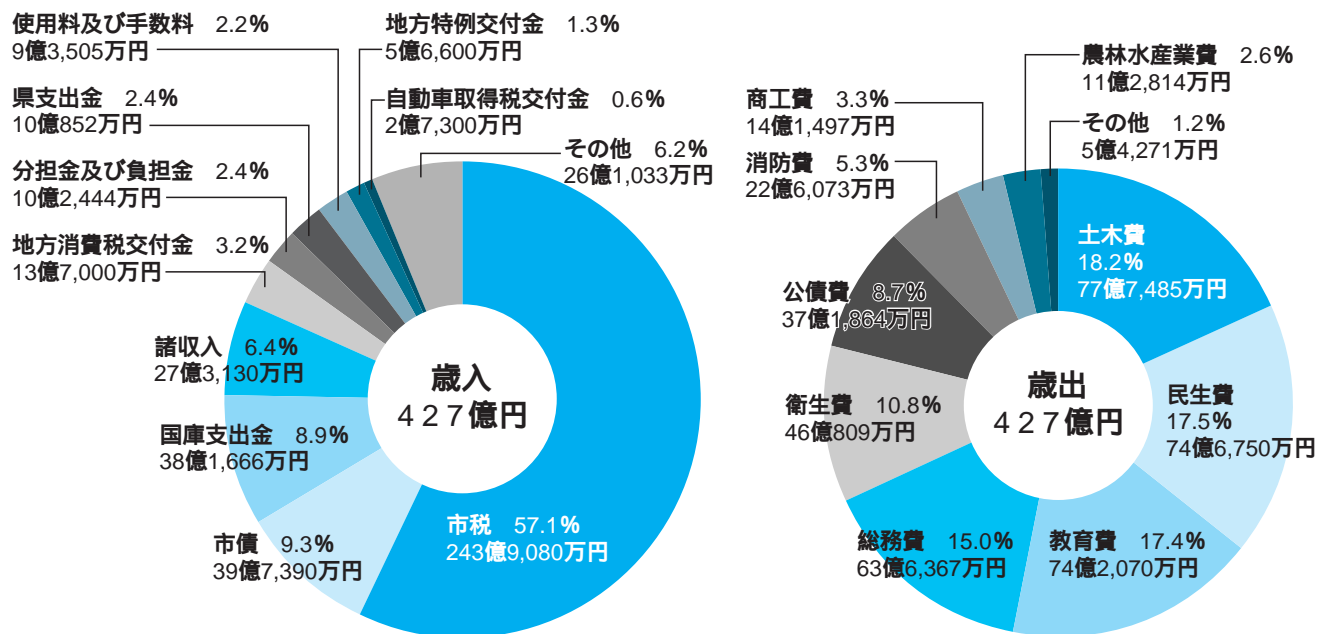
になっています。

しかし、このような状況にあっても、第6次総合5か年計画の推進を基本とし、「成田空港と関連機能の充実」、「観光・産業の活性化」、「保健・医療・福祉の充実」、「学校教育・生涯学習・生涯スポーツの充実」、「生活環境・自然環境の整備」、「安全で災害に強いまちづくりの推進」、「これら」市町村合併の推進を加えた七つの重点目標を柱に各種事業の緊急性優先度を考慮し、一層の経費節減を図るとともに、財政の健全性の確保と効率的な財政運営に留意しながら、平成16年度予算を編成しました。

市税の内訳

税目	平成16年度当初予算		平成15年度当初 予算額(万円)B	伸び率 (A/B)
	予算額(万円)A	構成比		
固定資産税	1,579,666	64.8	1,519,525	4.0%
市民税	722,206	%	750,282	3.7%
市たばこ税	105,328	29.6	95,381	10.4%
特別土地保有税	2,364	%	5,334	
都市計画税	19,091	4.3	19,612	55.7%
その他市税	10,425	%	10,001	2.7%
合計	2,439,080	0.1	2,400,135	4.2%

一般会計予算の内訳



市民一人当たりに使われるお金 (434,712円) の内訳

一般会計当初予算額 (427億円) ÷ 平成16年3月1日現在人口 (98,226人)

